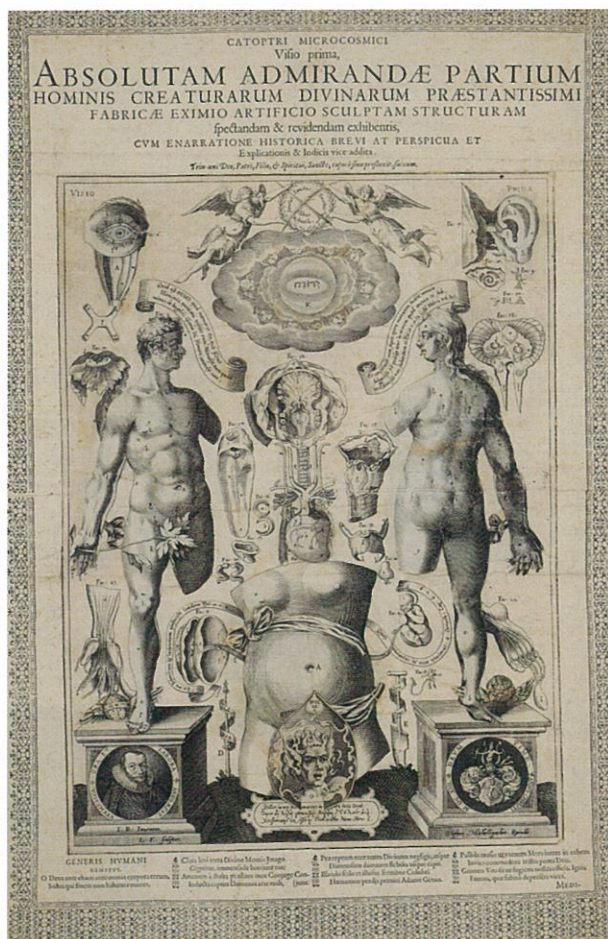


やまとの名品 天理図書館



しょう うちゅう かがみ 小宇宙鑑

ヨハン・レメリン (Johann Remmelin, 1583-1632)

ウルム 1613年刊

縦50.5cm 横34.5cm

レメリンは、一五八三年にドイツのウルムに生まれました。チュービンゲン大学で哲学と医学を学び、一六一七年までウルムで、その後シヨルンドルフやアウクスブルクで医師として勤め、一六三二年に没しています。本書は、ラテン語で表された人体解剖書の初版で、ウルム在住であった一六一三年に出版されました。第一図は向かい合う男女の図、第二図は男性の図、第三図は女性の図と、わずか三図から成り、図版の下に簡単な解説が記されています。

これらの人体図には、忠実に描かれた臓器や筋肉などを切り抜いた紙片が幾層にも貼り重ねられています。この紙片をめくると体の深部が現れる複雑な構造は、仕掛け絵本を連想させるものです。図版は、アウクスブルクの銅版画家ルカス・キリアンが彫版しました。本書には、レメリンの名前は記されていません。それは、レメリンが作った解剖図を友人たちに見せたところ、彼らがレメリンの許可なく、勝手に出版してしまったからです。実際、第一図に描かれたレメリンの肖像には「I. R.」と、その下にキリアンを示す「L. K.」が記されているのみです。六年後の一六一九年に豊富な解説を付した新しいラテン語版

が出版されましたが、この時に初めてレメリンとキリアンの名前が明らかになりました。分かりやすい解説と随所に見える聖書の言葉など、神学的な色彩が濃く表れていることから人気を博し、ドイツ語・フランス語・オランダ語など各国語に翻訳されて、百年以上に亘り版を重ねて普及した書物です。

(天理図書館 徳島照代)



レメリンの肖像画

天理図書館のお知らせ Tel 0743-63-9200 URL <https://www.tcl.gr.jp/>

◆本資料は「天理図書館開館90周年記念展 - 新収稀観本を中心に -」に出品しております。

○11月の休館日:15日・22日・23日・29日・30日

※最新の情報については公式HP、Twitterでご確認ください。